



信光寺 松平家ゆかりの寺 松平家ゆかりの寺 松平家ゆかりの寺

かつては教信寺と号されていたが、松平家の三代当主信光の子・西心法師が建てた際、父の菩提を弔うために信光寺と改号したとされる。

● 豊田市南松平1004



左: 魚沼さん一家の家から、歩いて100mほどの場所に信光寺がある。本堂は「和光寺子屋」の縁起に傳わる。右: 信光寺への途中には、移住のきっかけとなった一家が住んでいる。家族くみの付き合ひだ。



左: 魚沼さん一家の家から、歩いて100mほどの場所に信光寺がある。本堂は「和光寺子屋」の縁起に傳わる。右: 信光寺への途中には、移住のきっかけとなった一家が住んでいる。家族くみの付き合ひだ。

人の縁を支えられて 地域に溶け込む

大分県山崎の貴さんと名古屋市出身の絵美さん。貴さんの実家は兼業農家で農業には馴染みがあったが、「まさか専業農家になる未来が来るとは思っていませんでした」と、人の縁で様々な転機を迎えたと語る。絵美さんは暮らして和服を着用し、着付け講師として地域で活躍している。2人の子どもは松平地区で育った「松平ネイティブ」だ。

- 1 貴さん / 41歳
- 2 絵美さん / 47歳
- 3 彩(あや)さん / 11歳
- 4 凛(りん)さん / 9歳



地域の人々との交流が移住の輪を育む

Let's Live in Toyota Matsudaira

松平地区



徳川家の知行地である松平氏の没落で、「松平城址」や「松平美術館」などの史跡が今なお残り、迫力のある渓流など、豊かな自然にも恵まれている。

地元住民の 懐の深さが魅力

「薪ストーブのある家で暮らしたいと、それに合う土地探しをしていた飯沼さん。松平地区で働いていた貴さんは通勤時間が長くなった。それでも心残りがあったので3回ほど土地を見に来た時、近所の住民に声をかけられたのが決断のきっかけ。午後半ばかりの彩さんを抱く絵美さんへの、「そこと同じくらいの子どものいるし、私が面倒みてあげるから、ぜひ引越していらっしやい」という言葉で背中を押されたという。「移住する前にお付き合いが始まったんです。その方とは、今でも親戚のような関係です」と絵美さん。

子育て環境にも、「全校生徒が50人程度と、全員の顔がわかる規



薪が燃焼するとガスが発生し、空気がロータリに吸われる。薪の燃焼効率や空気の量がポイントだそう。

松平のおもしろ情報

<p>二畳ヶ滝</p> <p>岩壁が崩れて二畳になって落下する滝流は見ごたえ抜群。大石の後は水音が響き、更に迫力が増す。大蛇が住んでいたといわれる伝説も残っている。</p> <p>● 0565-77-9080(松平観光協会) ● 豊田市滝原町</p>	<p>王滝渓谷</p> <p>「東海の名仙峡」とも呼ばれる。黒下右衛門の農耕地。渓谷内には5万坪の栗畑や丹波、梅園がある。予約制でバーベキュー場の利用ができる。</p> <p>● 0565-77-9080(松平観光協会) ● 豊田市王滝町</p>	<p>棒の手</p> <p>愛知県無形文化財に指定されている伝統芸能。石神町には、「伝説の棒」が祀られており、棒術を演習する。天下無双や棒術に凝り込んでいる。</p>
<p>高根神社</p> <p>岩倉西の山頂に位置し、967～1267年の間に創建されたと推定される古い神社。本殿の傍には「男神殿」と「女神殿」の巨石があり、古神として祀られている。</p> <p>● 豊田市岩倉町大塚29</p>	<p>酒香ジュリンノ遺跡</p> <p>巴川の支流向山川に向する丘にある。約9000年前の縄文時代の遺跡。石斧、楕圓、楕圓、土器などが出土し、この地で石器の製作が行われていたと考えられている。</p> <p>● 豊田市草津町ジュリンノ</p>	<p>五平餅</p> <p>五平餅の味噌は遊業、餅社に効果があるといわれるアマノコという薬草入り。60～80歳の6人が一つのとりまきで作っている。</p> <p>● 0565-58-3771(滝川はれあ、工房)</p>



上: 信光寺は僧侶は無人だが、地元住民が頻りに訪れるため、美しく整備されている。下: 目の前の田圃を父と子供で収穫。左はイノシシが出ることもあるのでフェンスを張っています。

模倣です。うちの子どもとその子の区別がなく、みんな自分の子どものような感じですね」と人は笑う。移住から2年後、貴さんは会社を退職して農業をスタート。2020年からは上郷地区の和会町で米、麦、大豆などを大規模栽培。一方、松平地区では豊松栽培農組合を立ち上げ、副代表を務めている。また、移住者OBとして、町内に増えた移住者と地元住民を繋ぐパイプ役としても期待されている。「定住委員やまちづくり協議会などの様々な役割を任せてもらえて、充実しています。わたくわくわく事業を活用した団体「お野人会」の活動にもさらに力を入れていきたいですね」



左: 薪ストーブに薪の燃料は詰め込まれている。「土地熱帯帯はくらくらく手に入りませう」と貴さん。右: 薪の燃焼にはカラフルな食器が並ぶ。ストーブと合わせたカラーアイテムもセレクト。

右: 知らぬ間に、何時間も眠っているはずと貴さん。子ども達も、冬の暖かさが好きそう。左: 薪ストーブの燃焼はお手の物。寒い冬、薪のストーブは、暖まることと深いあつたワタシに愛される。